

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●藤井勘一郎騎手がJRA初勝利をあげる

3月9日(土)の1回阪神5日・第5レースではシュッドヴァデルが1着となり、同馬に騎乗した藤井勘一郎騎手(栗東・フリー)は、JRA初勝利(14戦目)をあげました。

●三浦皇成騎手がJRA通算700勝を達成

3月9日(土)の2回中山5日・第11レースとして行われたローレル競馬場賞中山牝馬S(GⅢ)ではフロンテアクイーンが1着となり、同馬に騎乗した三浦皇成騎手(美浦・鹿戸雄一厩舎)は、史上62人目、現役では29人目となるJRA通算700勝(8160戦目)を達成しました。

●上村洋行調教師がJRA初勝利をあげる

3月9日(土)の2回中京1日・第12レースとして行われた瀬戸特別ではアイファーイチオーが1着となり、同馬を管理する上村洋行調教師(栗東)は、JRA初勝利(延べ3頭目)をあげました。

●武井亮調教師がJRA通算100勝を達成

3月10日(日)の2回中山6日・第7レースではアストロログが1着となり、同馬を管理する武井亮調教師(美浦)は、現役143人目となるJRA通算100勝(延べ1213頭目)を達成しました。

●キンショーユキヒメ、アドマイヤリードの競走馬登録抹消

2018年福島牝馬S(GⅢ)の勝ち馬キンショーユキヒメ(牝6歳/栗東・長谷川浩大厩舎)は、3月7日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績30戦6勝・地方2戦0勝で、今後は北海道新冠町の佐藤牧場で繁殖馬となる予定です。また、2017年ヴィクトリアマイル(GⅠ)の勝ち馬アドマイヤリード(牝6歳/栗東・須貝尚介厩舎)は、3月13日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は24戦6勝で、今後は北海道安平町のノーザンファームで繁殖馬となる予定です。

●サクラキャンダルが死亡

3月4日(月)、1995年エリザベス女王杯(GⅠ)などの勝ち馬サクラキャンダル(牝27歳)が死亡しました。同馬はJRA通算18戦5勝の成績を残して引退、繁殖入り。その後繁殖からも引退し、北海道新ひだか町の谷岡スタットで余生を送っていました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●チュウワウイザードがダイオライト記念(船橋)を快勝

ダイオライト記念(JpnⅡ、3月13日、船橋、2400m)は、2番手から直線に入って間もなく抜け出したチュウワウイザード(川田将雅騎手、牝4歳、父キングカメハメハ)が4馬身差で快勝、単勝1.4倍の支持に応えました。アポロケンタッキーが2着、逃げた3番人気のオールブラッシュは3着、2番人気のミツバは4着でした。

●名古屋大賞典(名古屋)でグリムが3度目の重賞制覇

名古屋大賞典(JpnⅢ、3月14日、名古屋、1900m)は、単勝1.9倍で1番人気のグリム(武豊騎手、牝4歳、父ゼンノロブロイ)が2番手から4コーナーで先頭に立って押し切りました。2番人気のヒラボクラターシュが1馬身半差の2着、アナザートウルースが3着に入り、3番人気のテルベリオンは5着、キクノルアは6着に敗れています。

●キングズガードらが参戦、3月21日の黒船賞(高知)

黒船賞(JpnⅢ、3月21日、高知、1400m)は、前2年の2着馬キングズガードが最有力、以下サクセスエナジー、サイタスリーレッド、ヤマニンアンブリメ、テーオーヘリオス、エイシンバランサー(兵庫)までが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●ドバイの「スーパーサタデー」が開催

3月30日の「ドバイワールドC開催」に向けたステップレースを集中的に行う「スーパーサタデー」(2つのGⅠを含む7レース)が3月9日にドバイのメイダン競馬場で開催されました。そのメインとなるGⅠアルマクトゥームチャレンジラウンド3(ダート2000m)を制したのは地元ドバイのS.ビン・ガディヤー調教師が管理するキャッペッザーノ(騾5歳、父バーナディーニ)。昨年のGⅠドバイワールドCの勝ち馬サンダースノーに9.5馬身差をつけての逃げ切り勝ちで、重賞初制覇を果たしました。また、この日の準メインとなるGⅠジェベルハッタ(芝1800m)は、同じく地元のS.ビン・スルー調教師が管理するドリームキャッスル(騾5歳、父フランケル)が後方から鮮やかに差し切って優勝。1月のGⅢシングスピールSとGⅡアラシディヤ(ともに芝1800m)に続く重賞3連勝でのGⅠ初制覇となりました。